

# 公益財団法人日本美術刀剣保存協会 平成28年度事業報告及び決算報告

## I 事業の実施状況

### 1. 博物館事業

#### (1) 展示事業

平成28年度刀剣博物館の展示活動及び入館者数は29ページ表1の通り。

#### (2) 鑑賞会事業

定例鑑賞会は8月と12月を除く毎月第2土曜日に、当協会4階講堂において午後1時より開催した。鑑賞会には平均六三名の出席があり、刀剣の鑑賞並びに鑑定刀の入札及び当協会学芸員による解説を行った。

また定例鑑賞会にあわせて、平成24年9月から刀剣を手にとつて鑑賞したことのない初心者のために刀剣の扱い方、鑑賞の方法を学ぶための「日本刀鑑賞マナー講座」を予約制で開催し、修了した者には修了証を発行しており、平成28年度の参加者は八〇名であった。

その他協力団体が公益事業として開催する鑑賞会に、依頼により鑑定刀の貸与及び講師の派遣を行った。平成28年度は六九件の依頼があり、刀剣類5点を貸与し、鑑賞の指導を講師（当協会学芸員）が行つた。協力団体開催の鑑賞会の平均出席者は二五名であった。

#### (3) 作品発表会

##### ① 平成28年新作名刀展

作刀、刀身彫、彫金の職方の作品発表の場の提供及び多くの方に現代作家の技倆の高さをアピールすることを目的とし、平成28年6月14日(火)～7月24日(日)まで刀剣博物館で開催した。入場者は三、七九七人であった。

##### ② 第69回刀剣研磨・外装技術発表会入賞作品展

研磨、白鞘、刀装、柄前、白銀の職方の作品発表の場の提供及び多くの方に現代作家の技倆の高さをアピールすることを目的とし平成28年11月29日(火)～12月18日(日)まで当館で開催した。入場者は一、二〇七人であった。

#### (4) 古伝書等の公開

当協会の古伝書、一般刀剣関係書籍等を収蔵している資料室を、月曜日から金曜日の10時から16時（12時～13時を除く）まで事前予約制で一般の利用に供した。入室、閲覧は無料とし、コピーサービス（有料）にも応じた。平成28年度は一六一件の利用があつた。

#### (5) 刀剣相談

当協会に来館、または書面、電話での刀剣等に関するあらゆる相談を受け付け、刀剣類の文化財としての位置付けを認識してもらうと共に、刀剣類の知識として手入れ方法、保存方法を指導した。また銃砲刀剣類所持等取締法に基づく所轄警察署への届出等、関係法令の周知徹底を図り、各都道府県教育委員会への登録申請の相談も受け登録業務に協力した。

#### (6) 広報誌の発行

平成28年度は広報誌『刀剣美術』を七一一号から七一二号まで発行した。当協会編集委員及び編集担当職員が毎月編集会議を開催して内容を検討し、投稿された刀剣関係の論文、隨想、資料の紹介等の掲載の他、定例鑑賞会の報告及び当協会や刀剣界の情報発信源として、また刀剣類の知識の向上を目的として会員への配布のみならず、刀剣博物館においても一般に向けて頒布している。

#### (7) ホームページ活用

『刀剣美術』誌と共に、当協会や刀剣界の情報発信源として活用しているほか、刀剣の知識が学べるように構成している。また、『刀剣美術』誌の記事の一部を英訳してホームページから見ることができるようにして海外の研究者、愛刀家等の要望に応えている。

### 2. 教育、講習事業

#### 刀職技能訓練講習会

表 1

展示名	期間	一般	会員	招待	学生	中学生以下	団体	ぐるっとバス利用者	計(人)
企画展 鈴木嘉定コレクション寄贈品展 ※1	4. 1~5. 15	3,232	192	95	306	368	112	233	4,538
第24回特別重要刀剣等新指定展	5. 17~6. 12	1,707	161	221	178	213	0	243	2,723
平成28年新作名刀展	6. 14~7. 24	2,409	133	139	426	365	10	315	3,797
特別展 花鳥絢爛「石黒の世界」	7. 26~10. 30	5,236	223	324	838	776	146	709	8,252
第62回重要刀剣等新指定展	11. 1~11. 27	1,637	233	146	137	137	159	205	2,654
第69回刀剣研磨・外装技術発表会入選作品展	11. 29~12. 18	724	55	49	93	102	75	109	1,207
代々木感謝祭～刀剣博物館開館50年にわたりたる寄贈名品展～	H29 1. 5~3. 31	7,900	408	325	1,284	728	188	664	11,497
合計		22,845	1,405	1,299	3,262	2,689	690	2,478	34,668

※1 企画展 鈴木嘉定コレクション寄贈品展 は平成28年3月29日から開催

## (2)

### 第49回刀剣研磨・外装技術研修会

刀職者の技能向上とその普及を目的として、西日本で行っているこの講習会は、広報誌『刀剣美術』、当協会ホームページ、刀剣博物館掲示板で研修生を募集し、平成28年度で30回を数え、備前長船刀剣博物館において平成28年6月30日（木）から7月3日（日）の4日間開催した。講習部門は「柄下地の部」と「刀装金具の部」の2部門で、「柄下地の部」は柄巻師の無鑑査認定者の講師により「柄の要としての柄下地」を講習テーマとして実施し、受講者は七名であった。「刀装金具の部」は白銀師の無鑑査認定者の講師により「縁頭の製作技法」を講習テーマとして実施し、受講者は一四名であった。

最終日の閉講式において受講生に対し受講証書を交付した。

研修部門は「研磨の部」「鍛冶研ぎの部」（前半3日間）及び外装の部として「白鞘・刀装の部」「柄前の部」「白銀の部」（後半3日間）であり、「研磨の部」は研師の無鑑査認定者の講師により、「下地研ぎ」を研修テーマとして実施し、特別研修生五名、研修生八名、聴講生一九名の参加があつた。研修部は「研磨の部」「鍛冶研ぎの部」（前半3日間）及び外装の部として「白鞘・刀装の部」「柄前の部」「白銀の部」（後半3日間）であり、「研磨の部」は研師の無鑑査認定者の講師により、「下地研ぎ」を研修テーマとして実施し、特別研修生五名、研修生八名、聴講生一九名の参加があつた。

研修生一名の参加があつた。「白鞘・刀装の部」は鞘師の無鑑査認定者の講師により、「のり付けから仕上げまで」を研修テーマとして実施し、研修生二名、聴講生六名の参加があつた。「柄前の部」は柄巻師の無鑑査認定者の講師により、「のり付けから仕上げまで」を研修テーマとして実施し、研修生三名、研修生二名、聴講生八名の参加があつた。「白銀の部」は鍛冶研ぎの講師により、「一重鍛の火造」を研修テーマとして実施し、研修生二名、鍛冶研ぎの部の特別研修生二名、鍛冶研ぎの部の研修生二名として実施し、特別研修生二名、研修生三名、聴講生七名の参加があつた。

また、三年間の研修終了者は研磨の部の特別研修生二名、研磨の部の研修生二名、鍛冶研ぎの部の特別研修生二名、鍛冶研ぎの部の研修生二名、鍛冶研ぎの部の研修生二名として実施し、特別研修生二名、研修生三名、聴講生七名の参加があつた。

白銀の部の研修生一名であり、修了証書を交付し、その他研修生、聴講生にそれぞれ研修証書、聴講証書を交付した。

(3) 第34回作刀技術実地研修会

この研修会は、文化庁の作刀承認を得ること及び若手刀匠の技倆向上を目的として、広報誌『刀剣美術』、当協会ホームページ、刀剣博物館掲示板で研修生を募集し、平成28年11月8日（火）から11月11日（金）の4日間、島根県の日刀保日本刀鍛錬道場において開催した。

本研修会は三年で修了となるカリキュラムで行っているが、今回は第13期の1年目にあたり「鍛錬」をテーマとして講師に刀匠で無鑑査認定者2名により実施し、特別研修生一名、研修生三名、聴講生四名の参加があつた。この研修では近年のサブテーマである「各種玉鋼の効果的使用法」の研修も行つた。

(4) 村下養成研修会

たたら操業の日程にあわせ「日刀保たらたら」において、日刀保たら村下を講師に村下後継者の養成を行つた。養成員一〇名の参加があつた。

### 3. コンクール事業

(1) 平成28年新作名刀展

現代作家の技術の向上及び普及を目的として、作刀の部、刀身彫の部、彫金の部の三部門について広報誌『刀剣美術』、協会ホームページ、刀剣博物館掲示板で公募し、平成28年4月4日（月）から6日（水）の間受付をした。申請された作刀の部三八点、刀身彫の部四点、彫金の部二〇点について平成28年4月13日（水）に審査会を開催し、その結果は、特賞は作刀の部五点、刀身彫の部一点、彫金の部二点、努力賞は作刀の部五点、彫金の部三点、努力賞は作刀の部一〇点、刀身彫の部三点、彫金の部八点、入選は作刀の部一八点、彫金の部八点となつた。無鑑査による出品は、作刀の部一二点、彫金の部二点であつた。

平成28年6月14日（火）午後1時から当協会講堂において表彰式を執り行い、入賞者に賞金、賞状及び副賞（カップ及び出品者には玉鋼）、入選者に入選証書をそれぞれ交付した。各部門について審査員の代表が審査員講評を行つた。

査員講評を行つた。

新作名刀展では開催のチラシを各方面に配布し、また入賞作品の写真を掲載した入賞作品集を制作し、一部一、三〇〇円で頒布した。

展示は平成28年6月14日（火）から7月24日（日）まで刀剣博物館で開催し、その後は8月3日（水）から8月25日（木）まで山形県の致道博物館、9月10日（土）から9月25日（日）までは埼玉県の川越市立博物館、10月1日（土）から10月23日（日）までは岐阜県の関鍛冶伝承館において巡回展を行つた。

(2) 第69回刀剣研磨・外装技術発表会

現代作家の技術の向上とその普及を目的として、研磨の部、外装の部として白鞘の部、刀装の部、柄前の部、白銀の部について広報誌『刀剣美術』、協会ホームページ、刀剣博物館掲示板で公募し、平成28年11月7日（月）から9日（水）の間受付をした。研磨の部は「鑄造の部」と「平造の部」に分け、同時に二部門への出品ができる。申請された研磨（鑄造）の部四八点、研磨（平造）の部一八点、白鞘の部一点点、刀装の部五点、柄前の部一六点、白銀の部七点について、11月18日（金）当協会講堂において審査会を開催し、審査の結果、特賞は研磨（鑄造）の部七点、柄前の部一点、優秀賞は研磨（鑄造）の部四点、研磨（平造）の部二点、白鞘の部二点、努力賞は研磨（鑄造）の部二点、柄前の部二点、白銀の部二点、研磨（平造）の部二点、柄前の部二点、白銀の部二点、入選は研磨（鑄造）の部二五点、研磨（平造）の部一〇点、白鞘の部七点、刀装の部二点、柄前の部八点、白銀の部三点で、落選は研磨（鑄造）の部三点、研磨（平造）の部一点点であつた。無鑑査による出品は研磨の部九点、柄前の部二点、白銀の部二点であつた。

11月25日（金）午後1時より当協会講堂において表彰式を執り行い、入賞者に賞金、副賞（カップ）及び賞状を、入選者に入選証書をそれぞれ交付した。各部門について審査員の代表が審査員講評を行つた。展示は11月29日（火）から12月18日（日）まで刀剣博物館において開催した。

(1) 4. 検定・資料収集事業

刀剣類の保存・特別保存審査

8月と9月を除く毎月、保存及び特別保存の審査申請を受付、審査会を開催した。奇数月の月初めの連続する3日間は刀剣の受付を、偶数月の月初めの連続する3日間は刀装・刀装具の受付をした。受付点数により審査会を複数回設け、審査は理事会の決議を経て会長が指名または委嘱した審査員により、審査規程に則り厳正に審査を行い、合格したものには鑑定書を発行した。

受付点数、合格点数は次のとおりであった。

第24回特別重要刀剣は、4月11日(月)～13日(水)の3日間で受付をした。審査は理事会の議を経て会長が指名または委嘱した審査員により、審査規程に則り厳正に第一次及び第二次審査を行つた。また、5月17日(火)から6月12日(日)まで刀剣博物館において指定品の展示を行い、指定品の指定書及び指定品を纏めた図譜を頒布した。

第62回重要刀剣等審査は9月5日(月)～7日(水)の3日間で受付をした。審査は理事会の議を経て会長が指名または委嘱した審査員により、審査規程に則り厳正に第一次及び第二次審査を行つた。また、11月1日(火)から11月27日(日)まで刀剣博物館において指定品の展示を行い、指定品の指定書及び指定品を纏めた図譜を現在作成中である。

第24回特別重要刀剣	区 分	受付点数	合格点数
刀装	三三六	七一	五二
刀装具	一〇	二	五
刀装	二七	一	一
刀装具	二七	一	一

第62回 重要刀劍

刀装具 五十四  
二七四

(3) 資料收集

保存・特別保存、重要な各審査の申請物件すべての調書を作成し、合格したものについては写真もしくは押形と共に保管し、データベースで管理した。また過去の受付物件も順次データ化を進めている。

## (1) 5 資格付与事業

今年度末現在無鑑査認定者は作刀の部が一六名、刀身彫の部が一名、副金の部が四名、研磨の部が一七名、外装の部が一〇名となつてゐる。

(2)

今年度末現在無鑑査認定者は作刀の部が一六名、刀身彫の部が一名、副金の部が四名、研磨の部が一七名、外装の部が一〇名となつてゐる。

(3) 刀劍等指導員・刀劍等指導補助員登録

刀剣等指導員規程による指導員登録の申請が5名より提出され、いずれも刀剣等指導員規程第2条の資格を有しているため証明書が発行された。刀剣等指導員の資格要件に中伝位以上を授与された者と規定されていることから、伝位授与と連動して指導員として刀剣文化の普及に活躍する人材を育てることを目的としている。

なお、今年度は刀剣等指導補助員の申請はなかつた

たら製錆事業

養成を行った。これに先立ち、操業開始前の準備として数日前より釜土の混練や本床への火入れなどを行つた。炉床の状態を整え、本操業に臨み、伝統技術の保存・伝承に努めた。

操業 자체は下準備から始まり、釜作り・三昼夜操業・釜壊しを一単位つまり一代と数えるが、釜作り以降の作業を計3回行い、1回平均約2・5トンの鉢を生産した。

また操業終了後からは、生産された鉢を破碎し翌年度以降の玉鋼配布準備のため各等級毎に選別する作業を行つた。

操業期間外では、日刀保たら村下の指導のもと、ほぼ通年で以下の作業を行つてゐる。(1)三代分のたたら炭の生産(約36トン)、(2)粘土の選別と確保、(3)注文に応じての玉鋼発送作業、(4)その他適宜発生する業務。さらに、生産された玉鋼について刀匠に頒布の文書を郵送した。

## 7. 刀剣文化振興の助成事業

当協会の協力団体は国内に79団体、海外に4団体設立されており、全国及び海外の刀剣普及活動の拠点である。平成28年度は1団体の設立及び1団体の解散があつた。

### 〈国内79団体〉

日刀保根室支部	日刀保帶広支部	日刀保札幌支部	日刀保旭川支部
日刀保青森県支部	日刀保八戸支部	日刀保岩手県支部	
日刀保秋田県支部	日刀保羽後秋田支部	日刀保山形県庄内支部	
日刀保山形支部	日刀保米沢支部	宮城県美術刀剣保存協会	
日刀保会津支部	日刀保福島県南支部	日刀保いわき支部	
日刀保福島支部	新誠会	日刀保高崎支部	日刀保茨城県支部
日刀保茨城県西北支部	土浦亀城刀剣会	日刀保栃木県支部	
埼玉県刀剣保存協議会	日刀保千葉県東部支部	日刀保千葉県支部	
日刀保東京都支部	日刀保東京多摩支部	日刀保横浜支部	鎌倉刀剣会
日刀保湘南支部	日刀保山梨県支部	日刀保新潟支部	日刀保長岡支部
日刀保富山県支部	日刀保石川県支部	日刀保若狭支部	日刀保福井支部
日刀保長野県南支部	日刀保長野県北支部	日刀保長野県東信支部	

### 〈海外4団体〉

ヨーロッパ支部 アメリカ支部 ロシア支部 イタリア支部

(1) 協力団体で開催する鑑賞会へ講師の派遣及び鑑賞刀剣の貸与  
1の(2)鑑賞会事業参照。

(2) 協力団体で開催する鑑賞会へ鑑賞刀剣のみの貸与  
平成28年度は一三件。

(3) 協力団体で主催する刀剣類の展示会の後援

協力団体で主催する刀剣類の展示会の助成及び共催事業として、平成28年度は以下の三件があつた。

日刀保秋田県支部「講演会」、日刀保札幌支部「刀剣展示会・実演・刀劍鑑賞会」、埼玉県刀剣保存協議会「新作名刀展」

## II 管理部門

### 1. 会員の状況 33ページ表2の通り。

職員数計300名 男子一九名 女子一一名(前期末一名増)  
平均年齢 男子51歳 女子51歳

表2

会員種別	国 内					海 外		計
	普通会員	学生会員	維持会員	優遇会員	終身会員	普通会員	終身会員	
平成29年3月末日	4,110人	28人	10人	8人	59人	258人	8人	4,481人
昨年度との差	-29人	-3人	+5人	-3人	-2人	+3人	-1人	-30人

- (1) 3. 役員会等に関する事項
- 平成28年度第1回理事会  
日時 平成28年5月24日(火)  
午後1時30分から3時30分
- 議題 ①平成27年度事業報告案  
及び決算(案)について  
②定期評議員会の招集について
- 平成28年度定期評議員会  
日時 平成28年6月21日(火)  
午後1時30分から2時30分
- 議題 ①平成27年度事業報告案  
及び決算(案)について  
②評議員の選任について
- 平成28年度理事会(定款第44条による理事会)  
日時 平成28年6月24日(金)  
議題 奥伝位の授与について
- 平成28年度理事会(定款第44条による理事会)  
日時 平成28年7月15日(金)  
議題 臨時評議員会の招集について
- 平成28年度臨時評議員会  
日時 平成28年7月25日(月)  
午後1時から1時30分
- 議題 理事一名の選任について  
平成28年度臨時理事会  
日時 平成28年7月25日(月)
- (7) (6) (5) (4) (3) (2) (1) (9) (8)

- 議題 会長の選任について  
平成28年度理事会(定款第44条による理事会)  
日時 平成28年9月15日(木)  
午後2時から2時30分
- 議題 特定寄付金の募集について  
内容を補足する重要な事項」が存在しないため作成しない  
平成29年5月
- III その他
- (1) 外部文化団体からの出陳要請により協会所蔵文化財のほか、玉鋼、砂鉄や、たら製鉄の工程などのパネルを貸与した。また各文化団体からの要請により所蔵文化財等の画像を貸与した。
- (2) 刀剣博物館は海外からの来館者がさらに増加傾向にあり、また協会主催の研修会に参加希望も多く、そういうニーズにできる限り柔軟に対応して各種事業に海外居住者への利用を促した。
- (3) 当協会は昭和23年に東京国立博物館内において設立され、昭和43年2月に現在の所在地に会館を建設して移転した。この建物は既に約半世紀経過しており、現在までにあらゆる補修はしているが老朽化が激しく、墨田区両国公会堂跡地への新築移転計画を進め、墨田区をはじめとする関係各所との協議・検討を経て、平成29年8月の竣工に向か、7月より建設工事を開始した。また、工事に先立ち7月6日(水)に地鎮祭を、平成29年3月13日(月)に上棟式をそれぞれ執り行つた。平成29年3月末現在、工事は予定通り進捗している。
- 平成28年度理事会(定款第44条による理事会)  
内容を補足する重要な事項」が存在しないため作成しない  
平成29年5月

# 貸 借 対 照 表

平成29年3月31日現在

(単位:円)

科 目	当期末	前年度	増 減
<b>I. 資 産 の 部</b>			
<b>1. 流動資産</b>			
現金	126,042,510	41,499,908	84,542,602
未収販売用書	28,717,327	38,590,620	△ 9,873,293
製品	21,863,772	19,151,564	2,712,208
原材料	83,424,298	77,532,567	5,891,731
前払	2,430,470	2,359,387	71,083
流动資産合計	861,449	332,105	529,344
	263,339,826	179,466,151	83,873,675
<b>2. 固定資産</b>			
(1) 基本財産			
土地	0	53,660,000	△ 53,660,000
建物	0	37,378,522	△ 37,378,522
預金	1,699,629,805	784,126,105	915,503,700
投資	30,000,000	30,000,000	0
刀剣及び小道具	715,250,000	715,250,000	0
基本財産合計	2,444,879,805	1,620,414,627	824,465,178
(2) 特定資産			
退職給付引当資産	59,032,016	93,667,566	△ 34,635,550
減価償却引当資産	119,476,655	119,476,655	0
刀剣学奨学積立資産	4,863,763	4,863,763	0
新刀剣博物館建設積立資産	22,635,000	240,000,000	△ 217,365,000
全国大会積立資産	10,000,000	0	10,000,000
特定資産合計	216,007,434	458,007,984	△ 242,000,550
(3) その他の固定資産			
建物付属設備	22,337,335	25,334,987	△ 2,997,652
構築物	315,802	3,243,748	△ 2,927,946
機械装置	4,388,154	5,681,490	△ 1,293,336
什器	9,070,593	10,594,291	△ 1,523,698
土建	1,123,384	1,414,315	△ 290,931
刀剣及び小道具	300,000	300,000	0
研修用教材	159,196,809	158,676,809	520,000
絵図	15,367,000	15,367,000	0
書類	5,800,000	5,800,000	0
建物	8,960,000	8,960,000	0
設備	635,873,830	87,328,800	548,545,030
計	862,732,907	322,701,440	540,031,467
固定資産合計	3,523,620,146	2,401,124,051	1,122,496,095
資産合計	3,786,959,972	2,580,590,202	1,206,369,770
<b>II. 負債の部</b>			
<b>1. 流動負債</b>			
未払預金	12,142,039	13,881,154	△ 1,739,115
前受金	32,705,634	30,537,504	2,168,130
預賞金	3,669,165	3,513,876	155,289
与引当金	8,217,543	8,850,081	△ 632,538
流动負債合計	56,734,381	56,782,615	△ 48,234
<b>2. 固定負債</b>			
退職給付引当金	60,977,985	106,230,014	△ 45,252,029
固定負債合計	60,977,985	106,230,014	△ 45,252,029
負債合計	117,712,366	163,012,629	△ 45,300,263
<b>III. 正味財産の部</b>			
<b>1. 指定正味財産</b>			
指定正味財産合計	22,635,000	0	22,635,000
(うち基本財産への充当額)	( 0 )	( 0 )	( 0 )
(うち特定資産への充当額)	( 22,635,000 )	( 0 )	( 22,635,000 )
<b>2. 一般正味財産</b>			
(うち基本財産への充当額)	3,646,612,606	2,417,577,573	1,229,035,033
(うち特定資産への充当額)	( 2,444,879,805 )	( 1,620,414,627 )	( 824,465,178 )
正味財産合計	( 134,340,418 )	( 364,340,418 )	( △ 230,000,000 )
負債及び正味財産合計	3,669,247,606	2,417,577,573	1,251,670,033
	3,786,959,972	2,580,590,202	1,206,369,770

# 正味財産増減計算書

平成28年4月1日から平成29年3月31日まで

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
<b>I 一般正味財産増減の部</b>			
<b>1. 経常増減の部</b>			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	472,680	3,664,929	△ 3,192,249
基本財産利息収益	472,680	3,664,929	△ 3,192,249
特定資産運用益	825,228	846,307	△ 21,079
特定資産受取利息	825,228	846,307	△ 21,079
受取会費及び入会金	46,732,286	44,783,326	1,948,960
会費及び入会金	46,732,286	44,783,326	1,948,960
事業収益	448,704,128	412,432,507	36,271,621
刀剣博物館入館料収益	16,881,757	20,784,630	△ 3,902,873
保存刀剣等鑑定会受取会費	291,764,000	283,310,000	8,454,000
重要刀剣等指定会受取会費	93,201,000	61,818,000	31,383,000
鑑賞会受取会費	3,250,800	3,288,000	△ 37,200
書籍売上高	5,871,694	7,357,992	△ 1,486,298
出版売上高	9,917,074	7,943,842	1,973,232
広告料収益	11,139,120	12,782,580	△ 1,643,460
伝位登録料収益	929,000	693,000	236,000
たたら事業収益	15,749,683	14,454,463	1,295,220
受取補助金等	2,650,000	2,650,000	0
受取国庫補助金	2,650,000	2,650,000	0
受取寄付金	0	380,000	△ 380,000
一般寄付	0	380,000	△ 380,000
雑収益	6,606,143	6,271,302	334,841
受取利息	932	18,827	△ 17,895
雑収益	6,605,211	6,252,475	352,736
諸引当金戻入	8,850,081	8,636,597	213,484
賞与引当金戻入	8,850,081	8,636,597	213,484
経常収益計	514,840,546	479,664,968	35,175,578
(2) 経常費用			
事業費	378,970,924	361,849,895	17,121,029
員報酬	5,652,000	5,435,000	217,000
給料手当	137,239,205	134,537,207	2,701,998
福利厚生費	23,076,481	22,166,615	909,866
旅費	40,496,308	37,398,629	3,097,679
通信費	9,172,570	11,274,580	△ 2,102,010
交通費	10,661,844	10,698,272	△ 36,428
消耗品	3,603,111	4,443,719	△ 840,608
印刷刷	43,390,018	42,111,509	1,278,509
光熱費	3,152,660	3,406,280	△ 253,620
修繕費	5,780,071	5,905,719	△ 125,648
賃貸料	18,799,070	8,788,445	10,010,625
税金	24,422,870	22,492,700	1,930,170
修繕費	6,898,000	5,996,600	901,400
賃料	867,062	594,596	272,466
助成金	4,642,002	6,383,469	△ 1,741,467
支払保険料	11,845,234	13,088,863	△ 1,243,629
勘定振替額	△ 43,056	△ 777,048	733,992
勘定負担金	143,172	473,516	△ 330,344

支 涉 雜 減 退	払 外 價 職	寄 償 給	付 却 付	金 費 費 費 用	200,000 5,290,837 2,226,416 6,279,104 15,175,945	1,000,000 4,754,802 1,710,930 8,489,514 11,475,978	△ 800,000 536,035 515,486 △ 2,210,410 3,699,967
-----------------------	------------------	-------------	-------------	-----------------------	--	--	---

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
管 理 費	15,579,189	14,727,825	851,364
役 員 報 酬	1,803,000	1,745,000	58,000
給 料 手 当	2,943,844	2,885,885	57,959
福 利 費	1,189,009	1,142,128	46,881
旅 通 費	412,143	506,590	△ 94,447
信 通 費	584,827	586,825	△ 1,998
消 耗 品	317,576	391,667	△ 74,091
光 热 水 料	251,940	272,208	△ 20,268
修 繕 料	656,534	670,805	△ 14,271
賃 支 払 保 險	661,665	309,324	352,341
支 顧 扎 金	520,237	356,758	163,479
支 顧 扎 金	3,789,000	3,448,092	340,908
涉 雜 会 議	63,128	208,784	△ 145,656
減 価 償 却 費	1,075,994	966,981	109,013
退 職 給 付 費	43,121	33,137	9,984
会 議 費	410,174	555,254	△ 145,080
經 常 費 用 計	781,936	591,296	190,640
當 期 経 常 增 減 額	75,061	57,091	17,970
	394,550,113	376,577,720	17,972,393
	120,290,433	103,087,248	17,203,185
<b>2. 経常外増減の部</b>			
<b>(1) 経常外収益</b>			
固 定 資 産 売 却 益	1,108,224,600	0	1,108,224,600
固 定 資 産 受 贈 益	520,000	0	520,000
償 還 差 益	0	643,208	△ 643,208
經 常 外 収 益 計	1,108,744,600	643,208	1,108,101,392
<b>(2) 経常外費用</b>			
經 常 外 費 用 計	0	0	0
當 期 経 常 外 增 減 額	1,108,744,600	643,208	1,108,101,392
他 会 計 振 替 額	0	0	0
當期一般正味財産増減額	1,229,035,033	103,730,456	1,125,304,577
一般正味財産期首残高	2,417,577,573	2,313,847,117	103,730,456
一般正味財産期末残高	3,646,612,606	2,417,577,573	1,229,035,033
<b>II 指定正味財産増減の部</b>			
當期指定正味財産増減額	22,635,000	0	22,635,000
指 定 正 味 財 産 期 首 残 高	0	0	0
指 定 正 味 財 産 期 末 残 高	22,635,000	0	22,635,000
<b>III 正味財産期末残高</b>	<b>3,669,247,606</b>	<b>2,417,577,573</b>	<b>1,251,670,033</b>

## 財産目録

平成29年3月31日現在

(単位:円)

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産) 現金	普通預金	みずほ銀行新宿新都心支店 他	運転資金として 2,337,773
	郵便貯金	代々木郵便局振替口座 他	運転資金として 109,960,297
	未収金		運転資金として 13,744,440
	販売用書籍	「昭和大名刀図譜」他	審査事業における審査料 他 28,717,327
	製品	島根県仁多郡奥出雲町	出版書籍の在庫である。 21,863,772
	原材料	島根県仁多郡奥出雲町 砂鉄、木炭	玉鋼の在庫である。 83,424,298
	前払金	N T T 東日本 他	玉鋼の材料の在庫である。 2,430,470
			通話料金その他の前払い分である。 861,449
流動資産合計			263,339,826
(固定資産) 基本財産	普通預金	三井住友信託銀行新宿支店	公益目的保有財産であり、運用益を公益目的事業の財源として使用している。 1,410,387,696
	定期預金	みずほ銀行新宿新都心支店 他	289,242,109
	投資有価証券	国債	公益目的保有財産であり、運用益を公益目的事業の財源として使用している。 30,000,000
	刀剣及び小道具	日本刀 他	公益目的保有財産であり、協会の事業の用に供している不可欠特定財産である。 715,250,000
	基本財産合計		2,444,879,805

(単位：円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
特定資産	退職給付引当資産	普通預金みずほ銀行新宿新都心支店 定期預金みずほ銀行新宿新都心支店 他	職員20名に対する退職金の支払いに備えた積立資産である。	18,239,946 40,792,070
	減価償却引当資産	普通預金みずほ銀行新宿新都心支店 定期預金三井住友信託銀行新宿支店 国債	将来の固定資産への投資のための引当資産である。	12,989,532 10,000,000 96,487,123
	刀剣学奨学積立資産	定期預金みずほ銀行新宿新都心支店		4,863,763
	全国大会積立資産	定期預金三井住友信託銀行新宿支店		10,000,000
	新刀剣博物館建設資産	普通預金みずほ銀行新宿新都心支店 代々木郵便局振替口座		21,745,000 890,000
	特 定 資 産 合 計			216,007,434
その他の固定資産	建物	島根県仁多郡奥出雲町	(供用財産) うち、公益目的保有財産99.4% うち、管理目的の財源として使用する財産0.6%	22,337,335
	建物付属設備	渋谷区代々木4-25-10	(供用財産) うち、公益目的保有財産88.3% うち、管理目的の財源として使用する財産11.7%	315,802
	構築物	渋谷区代々木4-25-10 石碑 他	(供用財産) うち、公益目的保有財産84.5% うち、管理目的の財源として使用する財産15.5%	4,388,154
	機械装置	島根県仁多郡奥出雲町 たら爐 他	公益目的保有財産である。	9,070,593
	什器備品	渋谷区代々木4-25-10	(供用財産) うち、公益目的保有財産93.7% うち、管理目的の財源として使用する財産6.3%	1,123,384
	土地	長野県上田市		300,000
	刀剣及び小道具	渋谷区代々木4-25-10 日本刀 他	公益目的保有財産である。	159,196,809
	研修用教材	渋谷区代々木4-25-10 刀剣及び小道具	公益目的保有財産である。	15,367,000
	絵画	渋谷区代々木4-25-10 日本画 他	公益目的保有財産である。	5,800,000
	図書及び押型	渋谷区代々木4-25-10 網屋押型 他	公益目的保有財産である。	8,960,000
	建設仮勘定		公益目的保有財産（新博物館建設の一部支払分）である。	635,873,830
	そ の 他 固 定 資 産 合 計			862,732,907
	固 定 資 產 合 計			3,523,620,146
	資 產 合 計			3,786,959,972

(単位：円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
(流動負債)	未払金		当期消費税確定額 他	12,142,039
	前受金	個人会員 他	公益目的事業及び管理目的の業務に使用する会費 他	32,705,634
	預り金	職員 他	社会保険料 他	3,669,165
	賞与引当金	職員	公益目的事業及び管理目的の業務に従事する職員の賞与の引当金である。	8,217,543
流動負債合計				56,734,381
(固定負債)	退職給付引当金	職員	職員20名に対する退職金の支払いに備えたものである。	60,977,985
固定負債合計				60,977,985
負債合計				117,712,366
正味財産				3,669,247,606

### 監査報告書

公益財団法人 日本美術刀剣保存協会  
会長 酒井忠久 殿

平成29年5月18日

公益財団法人 日本美術刀剣保存協会  
監事 小池 哲  
公益財団法人 日本美術刀剣保存協会  
監事 田口 基

公益財団法人日本美術刀剣保存協会における平成28年4月1日から平成29年3月31までの監査の方法及び結果について、次のとおり報告いたします。

#### 1. 監査の方法及びその内容

監事は、理事会などの会議に出席し、理事及び担当者からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告等及び会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、計算書類（貸借対照表・正味財産増減計算書）及びその附属明細書並びに財産目録について監査いたしました。

#### 2. 監査意見

##### (1) 事業報告等の監査結果

- 1) 事業報告は、法令及び公益財団法人日本美術刀剣保存協会定款に従い法人の状況を正しく表示しているものと認めます。
- 2) 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは公益財団法人日本美術刀剣保存協会定款に違反する事実は認められません。

##### (2) 計算書類及びその附属明細書並びに財産目録の監査結果

計算書類及びその附属明細書並びに財産目録は、法人の財産及び損益の状況を正確に示しているものと認めます。